

さっぽろし こども けんり たいせつ  
札幌市は、子どもの権利を大切にし、  
すべての子ども、子育て家庭が安心して  
暮らせるまちを目指しています。

しょう ちゅうがく せい  
小・中学生  
む がい よう ばん  
向け概要版

さっぽろし こ  
札幌市子どもの  
権利キャラクター  
さらり君



だい じ  
第4次

# さっぽろ子ども 未来プラン

れい わ ねん ど れい わ ねん ど  
令和2年度～令和6年度

#WE LIKE 保育！  
マスコットキャラクター  
ほいくん



「さっぽろ子ども未来プラン」は、  
子ども一人一人が安心して健やかに成長  
するための取組や子育て家庭を  
みんなで支えていく取組をまとめた  
今後5年間の計画です。

れい わ ねん ねん がつ  
令和2年(2020年)3月  
さっぽろし  
札幌市

# 「子ども未来プラン」で目指すこと

## 1 目指すまちの姿

このプランで目指すべきまちの姿（基本理念）を決めました。

子どもの権利を尊重し、  
子どもの輝きがすべての市民を笑顔で結ぶまち

## 2 大切にしている視点

このプランを進めるうえで、大切にしている視点は4つあります。

- 1 子どもの視点
- 2 すべての子どもと子育て家庭を支える視点
- 3 子どもの成長段階に応じて長期的に支える視点
- 4 様々な機関等の連携により社会全体で支える視点

子どもの幸せを  
第一に、子ども  
の視点に立った  
取り組みを  
取り組んでい  
くよ！



子どもアシストセンター  
マスコットキャラクター  
ハッピー

## 3 指標

計画が予定どおり進んでいるかを確認するために、  
めじるしとなる指標を決めて、その状況を見ながら計画を進めていきます。

自分のことが好きだと  
思う子どもの割合

目標  
現状

80%

67.4%

子ども向けの取組が  
きちんと子どもたちに  
届いているか…

子どもを生き育てやすい  
環境だと思う人の割合

目標  
現状

80%

50.9%

子育て家庭に必要な  
支援がきちんと届い  
ているか…

# 子どもが考える 未来のさっぽろ



実際に考えたのは、小・中・高校生15名からなる子ども未来委員会の子どもたち！

子ども・子育ての取組を進めるときは、子どもの視点に立って考えることが大切です。

このプランを作るために、子どもにやさしいまちはどんなまちか、札幌に住む子どもたち自身に考えてもらいました。

このプランの取組を進めながら、子どもも大人もみんなで協力して、子どもにやさしいまちを目指していきます！



## 個性を伸ばせる・

### チャレンジできるまち

自分を好きになることが自信につながり、新しいことにチャレンジできる。何かができるようになったとき、周囲に認められたときに成長を感じる。がんばったことを発表できる場があるといい。

## 子どもの 意見が尊重されるまち

まちづくりなど子どもに関わることは、子どもの意見を聞いてほしい。大人が耳を傾け、周囲がやさしい雰囲気だと安心して意見が言える。子どもも自分の意見をちゃんと言うことが大切。

## 子どもが考える

### 子どもに

### やさしいまち

## 大人と子どもが 交流できるまち

色々な人と関わることで、子どもは成長できる。乳幼児の親子や高齢者、大学生など、色々な人と交流できる場所が必要。地域の大人との交流は、子どもの毎日の安心にもつながる。

## 安心して 相談できるまち

身近に、秘密が守られて、安心して相談できる場所があるといい。相談すると気持ちが軽くなる。子どもも自分の考えを言葉にしたり、友達同士で相談に乗って助け合うことが大切。

さらに、

## 子どもも大人も

### 誰もが笑顔で

### 暮らせるように…

## 子育てにも やさしいまち

子育て中の大人にも元気でいてほしい。赤ちゃんが泣いていても迷惑そうにしないなど、周囲の理解とサポートが必要。

## 困ったときは 助け合えるまち

外国籍や障がいがあって、勉強や人との関わりに困難を抱えている子がいる。お互いを理解し、助け合うことが必要。

「子ども未来プラン」の主な取組

1

子どもの権利を  
大切にす環境を  
つくります！



主な取組

子ども向け広報

子どもの権利について、子ども向けの広報紙や、子ども向けの出前講座などで、子どもにわかりやすい、親しみやすい情報発信を進めます。

小・中学生向けパンフレットの配布

学校の授業でも活用できる、子どもの権利に関する小・中学生向けパンフレットを配布します。

子どもの権利の  
大切さを  
広めていきます！

主な取組

子どもからの提案・意見募集ハガキ

子どもがまちづくりについて考えた意見や提案を、広く返信用ハガキで募集します。

児童会館子ども運営委員会

すべての児童会館・ミニ児童会館で、子どもたちが運営のルール作りや行事の企画などに参加する、子ども運営委員会の取組を進めます。

子どもが意見を  
言ったり  
参加する機会を  
増やします！

主な取組

子どもアシストセンター

子どものための相談窓口として、子どもに寄り添った相談や救済活動を行います。また、子どもたちがもっと相談しやすくなるように、「LINE」による相談を行います。



▲子どもアシストセンターのカード

いじめや虐待への対応

子どもの毎日の安心のために、いじめや虐待の予防に取り組むとともに、もしおきてしまってもすぐに解決することができるように、相談や支援の体制を強化します。

「子ども未来プラン」の主な取組

2

安心して子どもを  
生み育てられる  
環境をつくります！



子育てをしている  
お父さん、お母さんを  
みんなで応援しよう！

保育士さんなどの  
子育てを支えている  
人たちの支援にも  
取り組みます！



主な取組

安心して子どもを  
預けられる環境を  
つくります！

保育サービスの充実

共働き<sup>ともばたら</sup>の家庭が増える中で、子育てをする家庭の様々な希望<sup>きぼう</sup>にこたえていくために、保育所を整備<sup>せいび</sup>して定員<sup>ていゐん</sup>を拡大<sup>かくだい</sup>するほか、緊急時<sup>きんぎゅうじ</sup>や病気<sup>びょうき</sup>の子ども<sup>こ</sup>の預かり<sup>あずか</sup>りなど、保育サービスの充実に取り組みます。

保育士への支援

新しい保育所を増やしていくためには、そこで働く保育士<sup>ほいくし</sup>が必要です。保育士<sup>ほいくし</sup>が安心して働くことができるように支援<sup>しえん</sup>するとともに、子どもたち<sup>こ</sup>に保育士の仕事<sup>しごと</sup>について関心<sup>かんしん</sup>を持ってもらうための周知<sup>しゅうち</sup>に取り組みます。

主な取組

社会全体で  
子育て家庭を  
応援します！

ワーク・ライフ・バランスの推進

男性<sup>だんせい</sup>も女性<sup>じょせい</sup>も、仕事<sup>しごと</sup>にやりがいを感じながら、家庭<sup>かみ</sup>や地域<sup>ちいき</sup>でも充実<sup>じゅうじつ</sup>した生活を送るとい「ワーク・ライフ・バランス」の考え方を広めるとともに、子育てしている母親<sup>ははおや</sup>の仕事<sup>しごと</sup>の継続<sup>けいぞく</sup>や再就職<sup>さいしゅうしょく</sup>を支援<sup>しえん</sup>します。

父親の積極的な子育ての推進

母親<sup>ははおや</sup>だけでなく、父親<sup>ちちおや</sup>も子育てに積極的に関わることができるように、父親<sup>ちちおや</sup>向け<sup>む</sup>の育児講座<sup>いくじこうざ</sup>を行うほか、育児休業<sup>いくじきゅうぎょう</sup>を取得<sup>しゅとく</sup>する場合<sup>ばあい</sup>の企業<sup>きぎょう</sup>への支援<sup>しえん</sup>を行います。

主な取組

子育てにかかる  
お金などの負担を  
軽くします！

子ども医療費助成

小学6年生<sup>しょうがくねんせい</sup>までの子ども<sup>こ</sup>が病気<sup>びょうき</sup>などで通院<sup>つういん</sup>するとき<sup>ひょうすく</sup>の費用<sup>ひようすく</sup>を少なくします。

「子ども未来プラン」の主な取組

3

子どもと若者の  
成長と自立を  
支えます！



札幌の子どもたちが、  
色々な学びや体験、  
人との出会いを通じて成長できる  
環境をつくっていきます！



放課後の  
子どもの居場所を  
つくります！

主な取組

**児童会館・ミニ児童会館・放課後児童クラブ**  
子どもたちが児童会館等で安心して生活し、遊ぶことができる環境  
をつくりまます。また、小学校やまちづくりセンターに併設する児童  
会館を整備し、地域交流や多世代交流を進めます。

子どもの  
体験機会を  
充実させます！

主な取組

**自然・文化・スポーツ体験**  
子どもは、色々な学びや遊び、体験を通じて成長していきます。札  
幌の自然や文化の特色も生かしながら、子どもたちが気軽に体験で  
きる機会を提供します。

若者の  
成長・自立を  
支援します！

主な取組

**若者支援施設**  
市内5か所にある若者支援施設（若者支援総合センター・若者活動  
センター）で、自立に向けて不安を抱える若者への支援や、若者同  
士の交流・社会参加のきっかけづくりを行います。

▶ 若者支援施設の愛称  
「Youth+ (ユースプラス)」  
をもとにしたロゴマーク



**相談支援パートナー**  
不登校やその心配のある子どもに対して、一人一人の状況に応じた  
きめ細かな支援を行うために、相談支援パートナーを学校に配置し  
ます。

「子ども未来プラン」の主な取組

4

配慮を要する  
子どもと家庭を  
支えます！



お互いの違いや個性を認め合って  
困ったときは助け合える、  
そんな社会になると子どもも  
大人も安心して暮らせるね。



主な取組

児童虐待防止に  
向けて相談体制を  
強化します！

児童相談体制の強化  
子どもの相談支援の拠点として、第二児童相談所をつくって体制を強化します。また、身近な相談窓口である区役所でも、子育て家庭に寄り添った相談支援を行い、関係機関が連携しながら虐待の防止に取り組みます。

主な取組

子どもの  
貧困対策の取組を  
進めます！

子どものくらしを支援する  
子どもコーディネーター  
子どもの困りごとを支援する専門家である、子どもコーディネーターが地域を巡回しながら、悩みを抱える子どもや家庭の相談にのり、必要な支援につなぐお手伝いをします。



▲子どもコーディネーターのチラシ

主な取組

みんなが安心して  
暮らせる  
多様性のある社会を  
目指します！

共生社会の実現に向けた取組  
すべての子どもが安心して暮らせるように、虐待などで親元を離れて暮らす子どもや障がいのある子ども、貧困家庭の子ども、ひとり親家庭の子どもなど、支援が必要な子どもたちを社会全体で支えます。また、民族や国籍、性別など、一人一人の違いを認め合いながら、困ったときにはお互いに助け合う社会の実現を目指していきます。

# 子どもの権利について

「子どもの権利」は、子ども一人一人が生まれながらに持っている、自分らしく豊かに成長するために欠かせない基本的な権利のこと。  
札幌市では、「子どもの権利条例」という決まりを作って、子どもの権利をみんなで大切にする、子どもにやさしいまちを目指しています。



安心して  
生きる権利

いじめや差別を受けない  
愛情をもって育てられる

子どもにとって

大切な

4つの権利

自分らしく  
生きる権利

それぞれの性格や考え方など、その人らしさが大切にされる



豊かに育つ権利



学び、遊び、休む  
夢に向かって  
チャレンジする

参加する権利

自分に関わることに意見を言う  
伝えた意見が大切にされる



子どもの権利救済機関

子ども  
アシスト  
センター



子どもたちの権利を守るために、  
友達のこと、家族のこと、いじめ  
のこと、学校のことなど、様々な  
相談を受け付けています。  
困ったり、悩んだりしたときは、  
まずは気軽に相談してください！

でん  
電 話

子ども専用 0120-66-3783

おとな用 011-211-3783

メール

assist@city.sapporo.jp

じゅう  
住 所

札幌市中央区南1条東1丁目  
大通バスセンタービル1号館6階

そうだん  
相 談  
できる  
じかん  
時 間

月～金 10:00～20:00  
土 10:00～16:00  
※日曜日・祝日・年末年始はお休み

無料

面談も  
できます

札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階

電話 011-211-2982 FAX 011-211-2943

Eメール kodomo.jisedai@city.sapporo.jp

SAPP  
RO



さっぽろ市  
01-G01-20-187  
R2-1-44